

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	文章理解の基礎	渡邊 淳子	1年次	春・秋

授業のキーワード	主題 段落 言葉の味わい
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	文章理解の第一歩である文章全体の主旨を的確に把握できるようにします。その上で筆者がなぜその言葉を用いたのかという点まで関心を持てるようにし、文章全体のニュアンスや味わいを読み取れることを目指します。授業は比較的読み易いものから、徐々に内容の複雑なものへとレベルを上げながら、例文を読み解く方法で進めます。
履修のアドバイス・前提科目等	授業のときだけでなく、日ごろから、新聞や本など、文章を読む姿勢を身につけてください。文学を履修することが望ましい。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	導入	この授業の目的を説明し、受講者各自の現在の文章理解力を解説します。	第9講	主題の把握 その1	短いコラムを用いて筆者の主張はどのようなことか的確に把握する練習をします。
第2講	句読点と文意	句読点の打ち方次第でどれだけ文意が変わり、またリズムが生まれるか例文で学習します。	第10講	主題の把握 その2	やや長い論説文を用いて筆者の主張はどのようなことか的確に把握する練習をします。
第3講	言葉と表現	言葉の使い方次第でどのくらい多様な表現が可能か学習します。	第11講	主題の把握 その3	比較的短い随筆・随想を用いて筆者の言わんとしているものは何か把握する練習をします。
第4講	言葉と表現	いくつかの同意語を用いてそれにふさわしい情景を各自文章化してみます。	第12講	文章を味わう	小説の一部を読み登場人物の心の動きや背景を読み取り、各自自分の受け止め方を発表します。
第5講	俳句の鑑賞	作家の人生や思念・感情あらゆるものが凝縮された言葉の世界を読み解く練習をします。	第13講	言葉を味わう	例文の中でなぜ筆者がその言葉を使ったのか検討し、言葉のニュアンスを味わう練習をします。
第6講	文章構成	文章の構成を学び、いくつかの例文で段落整序の練習をします。	第14講	まとめ	半期で学習したことを踏まえて鑑賞文を書いて見ます。
第7講	論旨の把握 その1	短いコラムを用いて論旨を的確に読み取る練習をします。	第15講	定期試験	
第8講	論旨の把握 その2	やや長い論説文を用いて論旨を的確に読み取れる練習をします。	評価方法		出席状況・授業態度 10% 試験 90%
	備考 (関連する資格・試験等)				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 谷沢栄一著『人間通になる読書術』（PHP新書） ○ 池内紀著『読書見本帖』（丸善ライブラリー） ○ 辰野和男著『文章の書き方』（岩波新書） 		